

事業所名

児童発達支援 TEKUNOBI糸島

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7年

1月

15日

法人(事業所)理念		<ul style="list-style-type: none"> ・優しさと真心のある専門性を発揮し、地域に必要とされ続ける企業となる。 ・クライアントの人生を担う一因として、健康と幸せに貢献する。 ・成長に必要な行動を実施し、人を磨くことを大切にする。 						
支援方針		お子様一人ひとりの状況に合わせた支援を提供するために評価、分析を実施し、介入方法や支援方法を立案したうえで提供します。						
営業時間		8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ハサミ操作：持ち方の修正、1回切りや連続切りなど課題の調整・道具操作(のり、えんぴつ、スプーン等)：下手持ちへの修正、机や椅子の高さ調整などの環境設定、補助する手の使い方・整容動作：うがい、水をすくう動作、顔につける動作の練習・更衣動作：前後理解の促し、上下肢機能練習、更衣練習の肢位(立位、座位、床座位)の調整・トイレ動作：排尿間隔の確認、トイレの理解、発信・就学の準備：持ち物の確認や準備の練習、登校までのルーティンの自立 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・上肢機能：握力やピンチ力、母指対立運動の向上を図るための洗濯ばさみや粘土操作。・下肢機能：歩行能力向上のために不整地での歩行練習、跨ぎ動作練習、ジャンプ練習・体幹機能：バランス能力向上のために片脚立位練習、バランスディスクの上での立位保持練習・前庭感覚刺激：ブランコ、トランポリン・固有感覚刺激：手押し車、ボルダリング・触覚刺激：粘土遊び、スライム遊び 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・数：数唱、数量を絵カード、具体物を使用して練習・記銘：視覚提示または聴覚提示にて記憶練習(即時記憶、短期記憶)・比較概念：大小、長短、多少を理解するために絵カード、具体物を使用して練習・空間認知：平面から立体までの理解を向上するための構成遊び・時間：時計やタイマーなどの理解を得るため視覚提示または聴覚提示での練習・日付：カレンダーの確認(スタンプ等) 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・受容言語：相手の言葉を理解するために視覚提示や場面とのマッチング練習・表出言語：自分の訴えを相手に伝えるために復唱練習や促しでの発語練習・要求：クレーン以外での要求練習(指差し、身振り、サイン)・読字：形の認識、文字のマッチング、1文字単位での理解練習・書字：なぞり書き、模写、反対文字の修正・明瞭度：口腔機能練習、1音ずつ発声・ST：ST評価、分析、介入方法の提供 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・模倣遊び：スタッフの真似をして遊びが成立する関わり・抽象遊び：スタッフが補助して遊びが成立するよう支援・並行遊び、連動遊び：同じ空間でお友達と一緒に過ごすことが出来るようスタッフが介入・自己コントロール：声の大小、場面ごとの行動抑制を視覚で伝えられるよう絵カードやイラストにて提示・ルール理解：集団活動での一斉指示を拾い行動することが出来るよう人数の調整や課題の難易度を調整 						
家族支援		面談による課題分析、介入方法の共有、家庭での様子を情報共有			移行支援		園との情報共有、保育所の園庭開放に参加	
地域支援・地域連携		他事業所との情報共有(個別支援計画書の共有による目標の確認)			職員の質の向上		症例検討、勉強会(月1回)	
主な行事等		夏祭り、水遊び、ハロウィン、クリスマス、節分、卒業式、避難訓練						